スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

愛媛県西予市

自 治 体 名 ： 愛媛県西予市
担 当 課 名 ： 西予市教育委員会学校教育課
電 話 番 号 ： ０８９４-６２-６４１４

1.自治体の基本情報

スポーツ庁

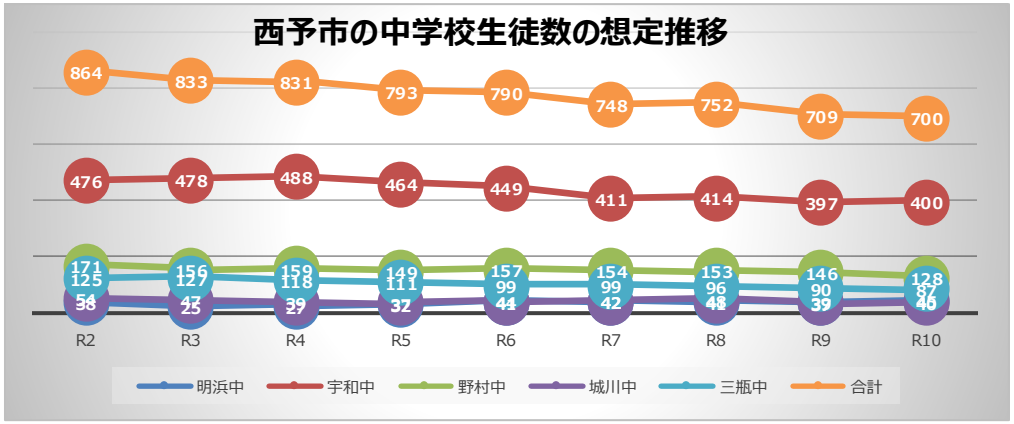
基本情報

面積	５１４ ㎢
人口	３３,７２１ 人
公立中学校数	５ 校
公立中学校生徒数	７９０ 人
部活動数	４０ 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

本市の中学校５校の生徒数は減少傾向にある。生徒数の減少に合わせて、運動部、文化部とも部員数が減少している。また、生徒数の減少ほど、部活動数が減少していないことから、各学校における部員数の確保が少しずつ厳しさを増している。そのことが要因となり、ここ数年で募集を停止した部活動や、廃部となった部活動がある。そのため、部活動の選択肢がほぼない学校があったり、小規模校において生徒たちの希望する部活動がなかったりするという状況が生まれている。運動部の団体競技においては、部員不足のため、単独校で公式戦に出場できず、合同で部活動に取り組んだり、個人戦のみに出場したりする部活動もある。今後、少子化の進行とともに部活動において同様の傾向が進むと考えられ、現状の部活動の体制の維持は難しくなることが考えられる。

【本市の課題】
①専門外の指導を必要とされる教職員の部活動指導
②生徒にとって望ましい活動の提供が困難
③画一的な地域移行モデルの確立が困難
④地域クラブ活動指導者・運営団体の確保



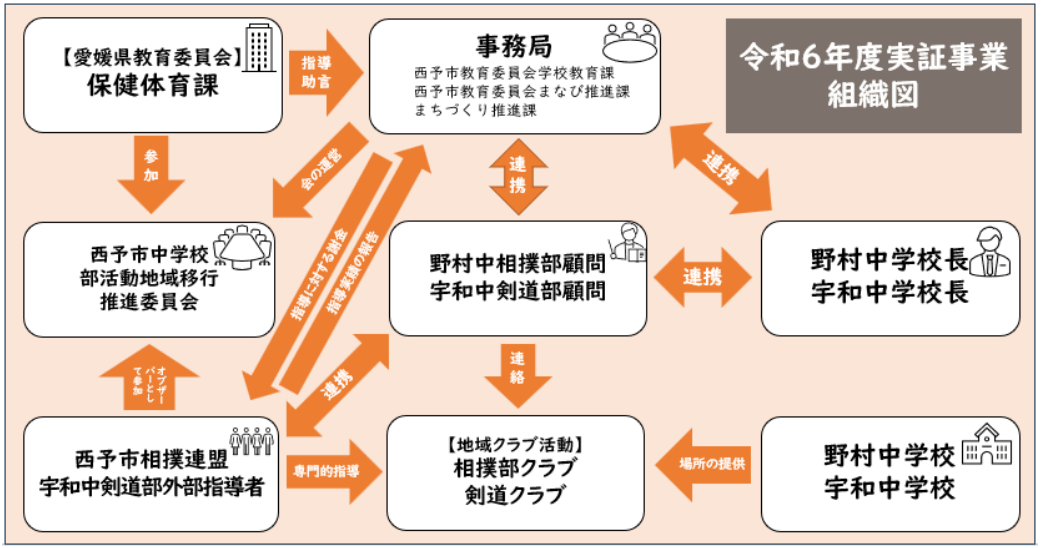
R10年度生徒数は、R２年度生徒数に比べて164名（19%）減少する見込みである。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◉教育委員会

・学校教育課…部活動改革の主管、実証事業を実施する当該クラブとの連絡・調整
　　推進委員会の設置・運営
・まなび推進課…PTAとの連絡・調整

◉首長部局

・まちづくり推進課…地域スポーツクラブ・文化芸実活動クラブとの連絡・調整

年間の事業スケジュール

令和６年４月	準備委員会（事務局打合）
５月	指導者講習会
６月	準備委員会（事務局打合）
７月	第１回委員会の開催
８月	準備委員会（事務局打合）
９月	準備委員会（事務局打合） モデル部活動関係者説明会 休日のクラブ活動開始
10月	中学校長との連絡会 準備委員会（事務局打合）
11月	準備委員会（事務局打合） 第２回委員会の開催
12月	平日のクラブ活動開始 各中学校へのヒアリング 準備委員会（事務局打合）
令和７年１月	準備委員会（事務局打合） 第３回委員会の開催 各中学校新入生説明会
２月	実証事業終了 実証事業関係者アンケート

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	2 校	実施した地域クラブ総数	2 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		2 クラブ（2 部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0 クラブ
全体の指導者数	6 人	全体の運営スタッフ数	5 人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目	実施回数	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
野村相撲クラブ	競技団体（西予市相撲連盟）	相撲（新）	月 4 回	休日午前中	1年1名 2年3名 3年4名	令和6年9月～令和7年2月	西予市立野村中学校相撲場	3 人	5 人（内、兼務5人）	月会費 0円	中体連：部活動 その他：部活動
宇和剣道クラブ	剣道連盟所属外部指導者	剣道（新）	月 4 回	休日午前中	1年6名 2年8名 3年0名	令和6年9月～令和7年2月	西予市立宇和中学校剣道場	3 人	5 人（内、兼務5人）	月会費 0円	中体連：部活動 その他：地域クラブ

③その他、体験会やイベント等の開催実績

●実証事業期間後半となる令和７年１・２月にモデル部活動体験会を企画し、12月に市内中学校保護者宛に、連絡アプリで開催を周知した。しかし、参加希望はなかったため、実施をしていない。

2.実証内容と成果

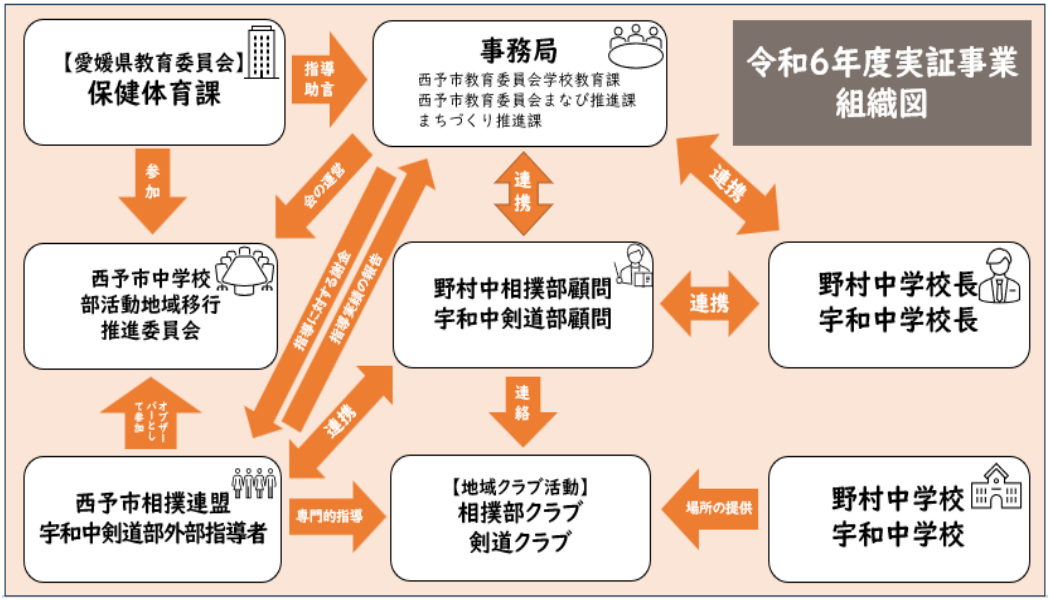
スポーツ庁

主な取組例

●スポーツクラブ　活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	剣道、相撲
運営団体名	西予市教育委員会学校教育課
期間と日数	剣道：９月14日 ～ ２月16日 月４回程度 相撲：９月21日 ～ ２月１日 月４回程度
指導者の主な属性	競技連盟指導者、競技経験者
活動場所	剣道：西予市立宇和中学校剣道場 相撲：西予市立野村中学校相撲場
主な移動手段	徒歩・自転車
１人あたりの参加会費等（年額）	剣道：０円 相撲：０円
１人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒１人あたり：800円/年 指導者１人あたり：1,200円/年 1,850円/年

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●事務局５名

役割：指導者費（諸謝金）をはじめとする予算管理・対応
スポーツ安全保険加入および事故対応
実証事業に係る計画立案・報告

●地域指導者　各クラブ３名

役割：クラブ生に対する専門的な指導
：学校との連携（指導方針・練習内容・練習計画等の共有）
：指導実施整理簿の作成・提出

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保②

指導者研修の内容

愛媛県総合教育センターの指導主事を講師として迎え、「中学生の部活動指導にあたって大切にしたいこと」と題して、講演をしていただいた。

最初に、「学校部活動及び新たな地域部活動等のあり方に関する総合的なガイドライン」について触れられ、**どのような目的で、どのような姿を目指して部活動の地域移行が行われていくべきかという共通認識**を持つことができた。

後半は、**「部活動の意義」「部活動の運営」「部活動における安全管理と事故防止」**の３つの内容について研修を行った。中学生の指導に携わる管理職や教諭（顧問・副顧問）、実証事業に関わる地域指導者などが参加した。

指導者研修の参加実績

・開催日：　５月 16日
・開催回数：　１ 回
・参加人数：　19 人

令和５年度に部活動地域移行に係る保護者アンケートを実施した際に、地域指導者の質の担保を求める意見が多くあったため、今年度市独自の研修会を初めて実施した。

受講者の声

・これまで長年顧問として取り組んできたため、すでに実践している内容もあったが、新たに得られた知識もあった。中学生を指導する上で基本的なことが多かったが、すべて大切なことばかりなので、中学校に持ち帰って共有をしたい。【管理職】
・多岐にわたる内容について講演をしていただいた。当然のことながら、技術指導だけではなく、安全管理やコンプライアンス、コーチングのことなど、子どもたちを指導する上で留意することは多くある。子どもたちの健全育成のために、すべきこと、できることを行っていきたい。【部活動顧問】
・地域指導者として中学生に関わる時に、どういうことに気を付けていけばよいかがよく分かった。お互いに気持ちよく活動できるようにしていきたい。【地域指導者】

今後の課題と対応方針

・**早い時期に設定することで、中学生の指導について共通理解を図る**ことができた。日程調整が難しく、**参加人数が想定していた人数よりも少なかった。**年間計画に組み込み、受講者を多くしていきたい。
・今後、継続して実施するとともに、クラブ活動を指導する地域指導者には受講を必須とするなど、**指導者の質の保障**に努めていきたい。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

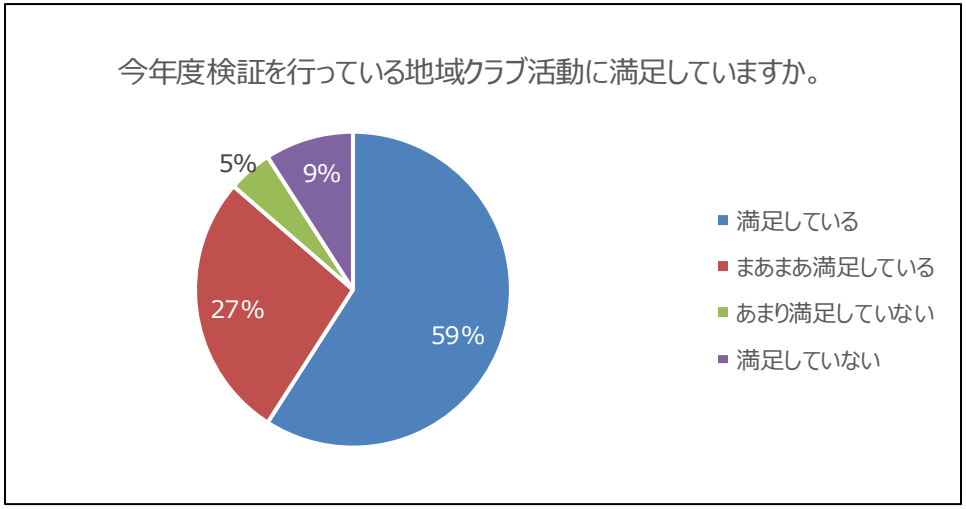
取組内容

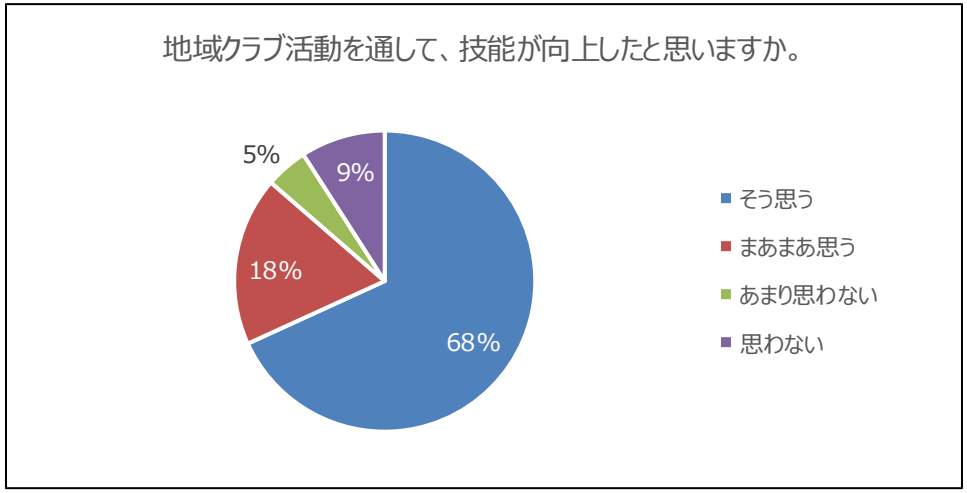
●取組項目名　オ：内容の充実②

取組の成果

実証事業終了後に、モデル部活動に参加した中学生22名を対象にアンケートを実施した。本市では、今年度、文化部と運動部で実証事業を行っていたため、２運動部と１文化部の生徒を対象としている。

「地域クラブ活動に満足している」と**肯定的に回答した割合が86%**となった。また、「地域クラブ活動を通して、技能が向上したと思うか」の問いについても、**86%の肯定的な回答**を得ることができた。「地域クラブ活動に取り組んでみて良かったと思うこと」については、「学校の部活動ではできない小学生や高校生との交流ができた」「地域指導者の方に教えてもらうことで、上手に弾くことができるようになった」「いろいろな方が先生（指導者）として来てもらうこと」などがあった。しかし、「改善した方が良いと思うこと」の中には、「終了時間の厳守をしてほしい」「親の協力がより必要になること」などもあった。





今後の課題と対応方針

「部活動がこのまま地域クラブに移行するとしたら、どんなことに不安を感じるか」の問いについては、**「活動時間の長さや時間帯」「活動場所までの移動」「地域指導者との人間関係」「ケガやトラブルの対応」**が上位であった。概ね活動には満足しているものの、子どもたちの活動がより充実するよう、課題の解決に向けての方策を進めていきたい。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　カ：参加費用負担の支援等①

取組事項

地域スポーツクラブ活動の運営や指導者配置等に必要なコストを検証するとともに、こうしたコストをどのように賄っていくかについて受益者負担等と公的資金との適切なバランスも含めて収支構造を検討した。

地域クラブに係る経費

■イニシャルコストの分析

・環境整備に係る費用（3千円）

・協議会委員謝金（77千円）

■ランニングコストの分析

・指導者謝金（406千円）

・消耗品費（45千円）

・指導者研修会講師旅費（9千円）

・スポーツ保険保険料等（31千円）

・システム利用料（1千円）

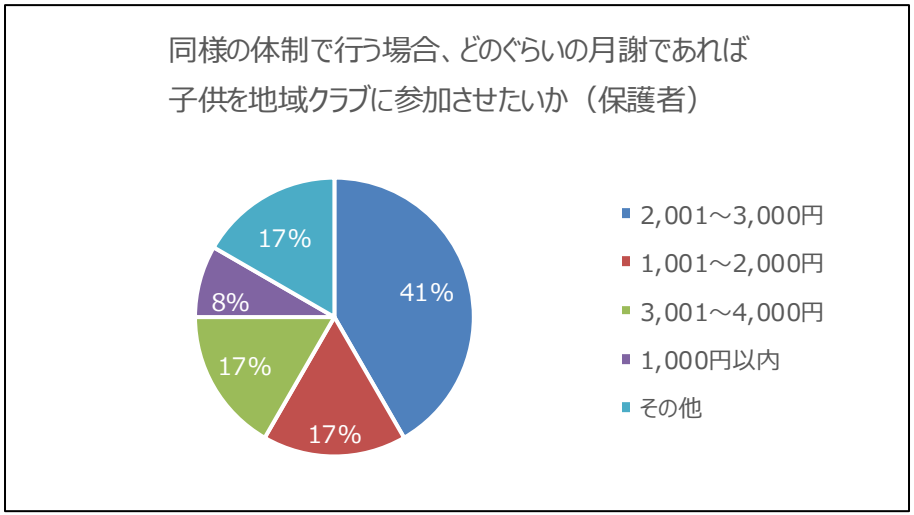
持続的な運営に必要な受益者負担額の試算

・持続的な運営に必要な受益者負担額の試算を行った。今回の調査では活動１回あたりの負担が581円程度となったが、既存の部活動を基に調査したため、大会参加費は市からの補助金で賄われているとともに、施設使用料は全額免除されている。今後の市からの支援にもよるが、**地域に移行された場合の経費は調査よりも多くかかることが予測**される。

収支バランス

今回の検証では受益者負担を徴収していないが、関係保護者に対し保護者負担に関するアンケートを実施した。結果として、月額2,001円～3,000円とした保護者が最も多く全体の41%を占め、4,001円以上と回答した保護者は0%であった。このことから、今回の検証と同等の活動内容で実施しようとした場合は、**公的な支援がなければ、多くの保護者の理解を得ることは困難である**ことが予測される。

指導者謝金が全体の支出の約70%を占めることから、**謝金単価について検討**するとともに、**参加人数を増やすこと**が検証後の課題となった。



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　カ：参加費用負担の支援等③

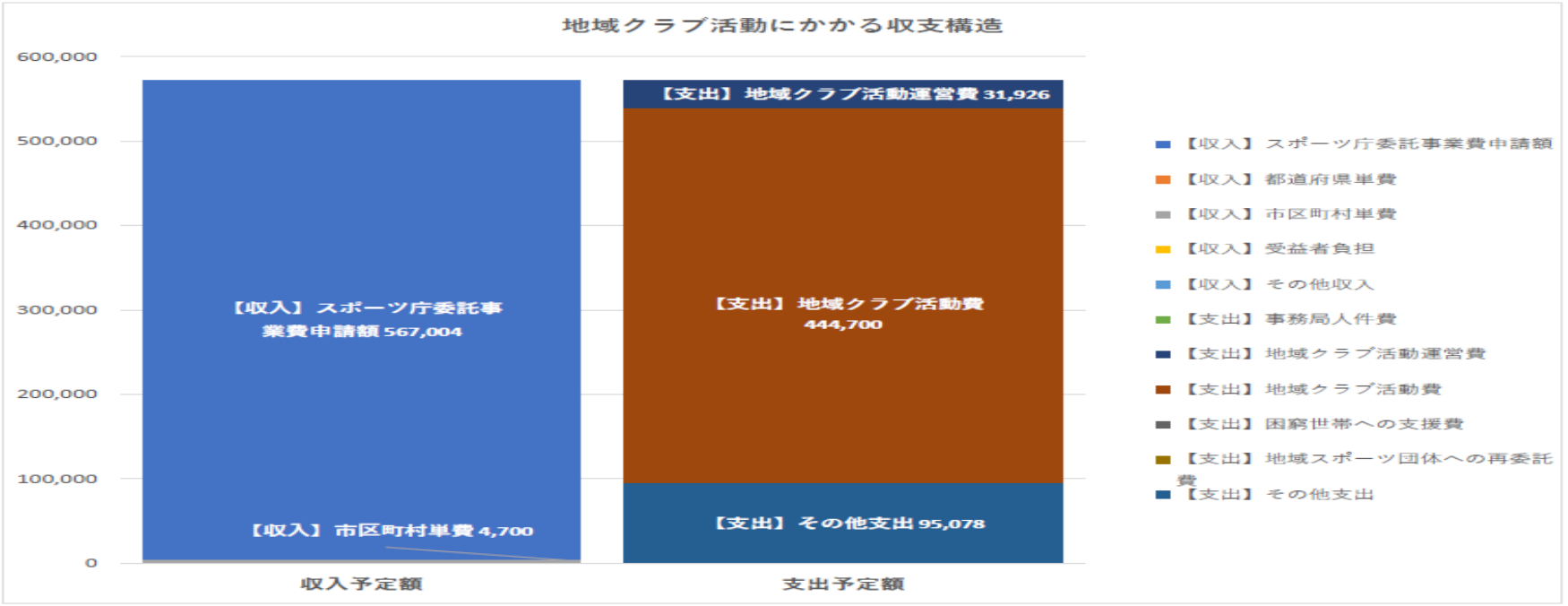
資料

収入		
内容	金額（円）	割合（%）
スポーツ庁委託事業費申請額	567,004	99.2
都道府県単費	0	0.0
市区町村単費	4,700	0.8
受益者負担	0	0.0
その他収入	0	0.0
合計	571,704	100.0

支出		
内容	金額（円）	割合（%）
事務局人件費	0	0.0
地域クラブ活動運営費	31,926	5.6
地域クラブ活動費	444,700	77.8
困窮世帯への支援費	0	0.0
市区町村から地域スポーツ団体への再委託費	0	0.0
その他支出	95,078	16.6
合計	571,704	100.0

区分	1回あたりの平均参加者数（人）	年間活動回数（回）	参加者数(人)×年間活動回数(回)
剣道	14	56	784
相撲	8	25	200
合計	22		984

地域クラブ活動に要する費用（※2）		
1人あたりの年間費用	25,986.55	円/人
1人・1回当たりの費用	581.00	円/人・回



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　キ：学校施設の活用等

取組事項

・実証事業に係る活動（モデル部活動）で学校施設を利用する場合は、使用料を全額減免歳、部活動と同程度に優先して使用可能とした。
・同様に、学校備品の利用についても、当該学校の許可を得て、学校部活動と同様に使用可能とした。
・キーボックスを設置し、地域指導者だけで学校施設を利用できるようにした。

取組の成果

・学校施設の利用や、学校備品の利用が可能となったことで、**地域クラブ活動における学校施設利用料や備品の調達に係る費用が抑えられ、活動の支障とならない**ようにすることができた。
・活動開始当初は、部活動顧問が地域クラブ活動を行う際に、学校施設の施錠管理を行っていたが、後半は地域指導者が施錠管理を行い、**部活動顧問の負担を減らす**ことができた。

今後の課題と対応方針

・活動を中心的に行う場所（和室）を利用するために、学校の構造上、職員玄関および和室の施錠管理を地域指導者が行う必要があった。そのため地域指導者だけで利用することに、地域指導者自身が躊躇することがあった。地域クラブ活動への移行となると、同様の場所を利用する予定のため、**施設利用に関しての課題**を解決できるようにしたい。
・学校施設の利用や学校備品の利用については、引き続きこの取組を継続し、地域クラブの円滑な運営を側面から支えていきたい。

2.実証内容と成果①

スポーツ庁

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

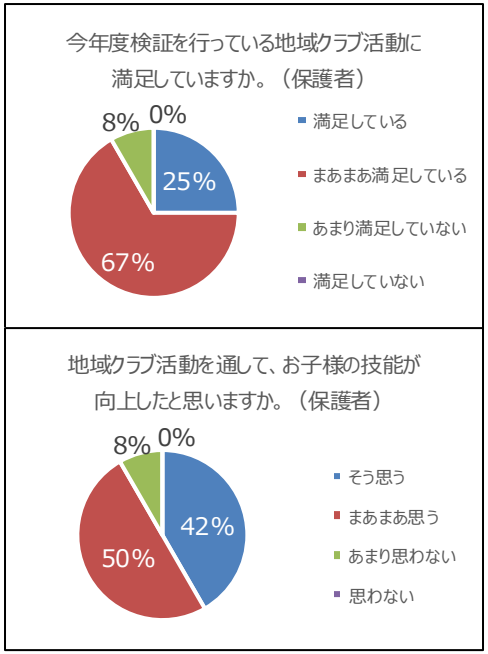
・本市の中学校部活動地域移行を推進するにあたって、どのような解決すべき課題があるか、ある程度想定をしていたが、実証事業を通して多くの課題が見つかった。また、**想定していた課題についても、より具体的な課題を把握できた**ことが大きな収穫であった。

・今年度は、既存の部活動を地域に移行する取組を検証するにあたり、長年、地域指導者が無償で部活動の指導に携わっていた２つの部活動を選定した。選定時には、地域クラブ化がスムーズに進むのではないかと考えていたが、**これまで地域指導者と学校（部活動顧問）がうまく連携を取りながら実施していたからこそ、機能していた**ということが分かった。そのため、地域クラブ活動へと移行する際に、学校からの協力が得られなくなるのではと不安に思う地域指導者および保護者が多くいた。

・「地域クラブ活動を実施してみて困ったことや悩んだこと」を地域指導者に尋ねたところ、「個に応じた指導」の他に「生徒間のトラブル対応」「事故発生時の対応」「保護者対応」など、**これまで責任の範疇でなかったことが多く**挙がった。このような部分の解決が今後必要である。

●成果の評価

実証事業終了後のモデル部活動関係者アンケート結果では、「地域クラブ活動に満足している」と**肯定的に回答した割合**は生徒が**86%**、保護者が**82%**となった。「地域クラブ活動を通して技能が向上した」の**肯定的回答**は生徒が**86%**、保護者が**92%**となった。「**休日を中心に地域クラブ活動を実施して、負担が減った**」と回答した部活動顧問は**75%**であった。先述のアンケート結果からも、**地域指導者と部活動顧問との連携は十分に取れていた**と考える。



●今後に向けて

・今回の実証事業を通して、**一部の部活動を先行して地域クラブ活動に移行することに困難さ**を感じた。地域クラブ活動が既存の部活動に比べ、どのようなメリットがあるのかが不透明であり、生徒・保護者・地域指導者から理解を得ることが難しい。そのため、市全体で一斉移行できるよう、今後、ロードマップを作成していきたい。

・部活動の良さの継承や、信頼できる地域指導者の発掘・確保、財政措置など、**部活動の地域移行に係る課題についての解決策**を今後協議し、スムーズな地域移行につなげたい。

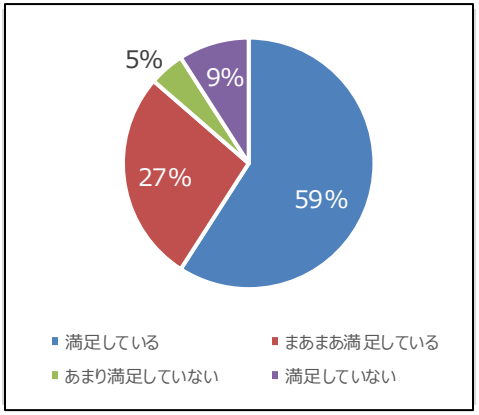
2.実証内容と成果②

スポーツ庁

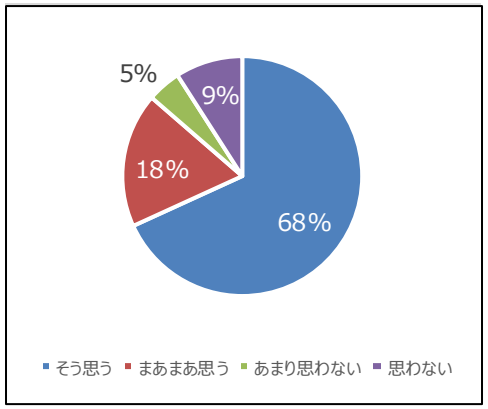
アンケート結果・参加者の声

●アンケート結果

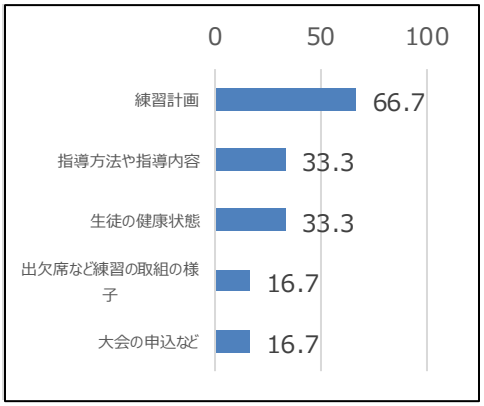
Q.今年度検証を行っている地域クラブ活動に満足しているか。（中学生）



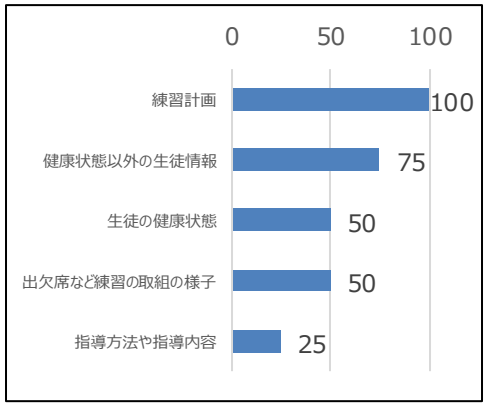
Q.地域クラブ活動を通して、技能が向上したと思うか。（中学生）



Q.学校との連携が取れていた内容について（複数回答可　地域指導者）



Q.学校との連携が取れていた内容について（複数回答可　部活動顧問）



●参加者の声

中学生
いろいろな人たちと話したり、一緒に活動できたりして楽しい。基礎的なことを一から教えてもらえてよかった。

中学生
地域移行は何をするのか。いいことなのかどうなのか、わからない部分が多々ある。やってからわかることもあるかもしれないが、メリット・デメリット以前にどうなっていくのかが、中学生の中では曖昧な気がする。

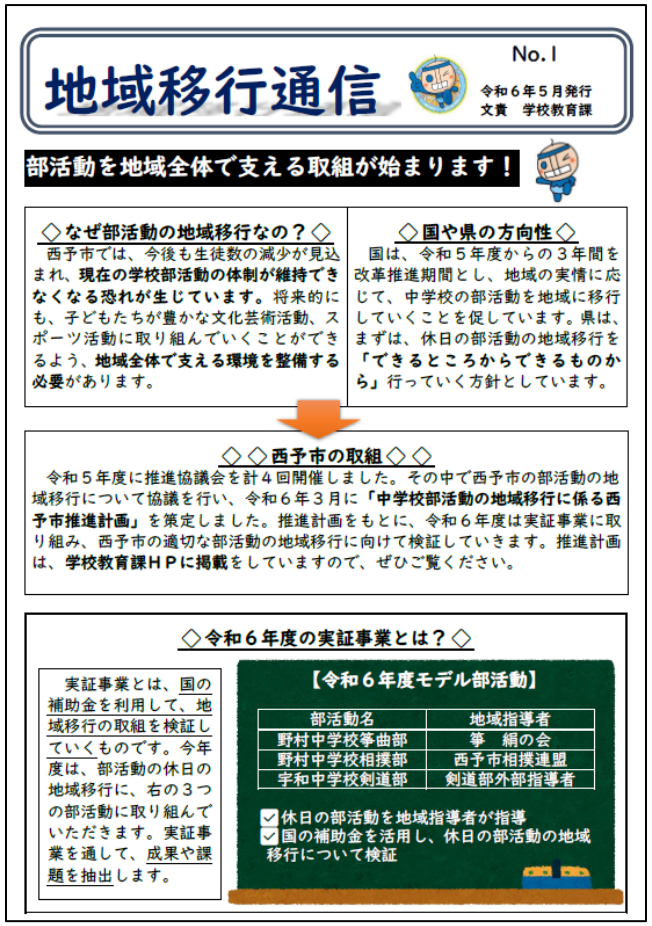
地域指導者
休日だけなら問題ないが、平日になると対応はできない。平日の活動時間も自由になると対応できる方が増えるかもしれない。

部活動顧問
教職員は、部活動を「当たり前」と思っているが、地域指導者にとっては、ボランティアでの指導参画は当たり前では無い。この事業で地域の方にも積極的に指導参加をお願いでき、要請もしやすかった。

2.実証内容と成果③

スポーツ庁

アンケート結果・広報資料



地域移行通信

No.1

令和６年５月発行
文責　学校教育課

部活動を地域全体で支える取組が始まります！

◇なぜ部活動の地域移行なの？◇

西予市では、今後も生徒数の減少が見込まれ、**現在の学校部活動の体制が維持できなくなる恐れが生じています。**将来的にも、子どもたちが豊かな文化芸術活動、スポーツ活動に取り組んでいくことができるよう、**地域全体で支える環境を整備する必要**があります。

◇国や県の方向性◇

国は、令和５年度からの３年間を改革推進期間とし、地域の実情に応じて、中学校の部活動を地域に移行していくことを促しています。県は、まずは、休日の部活動の地域移行を**「できるところからできるものから」**行っていく方針としています。

◇◇西予市の取組◇◇

令和５年度に推進協議会を計４回開催しました。その中で西予市の部活動の地域移行について協議を行い、令和６年３月に**「中学校部活動の地域移行に係る西予市推進計画」**を策定しました。推進計画をもとに、令和６年度は実証事業に取り組み、西予市の適切な部活動の地域移行に向けて検証していきます。推進計画は、**学校教育課ＨＰに掲載**をしていますので、ぜひご覧ください。

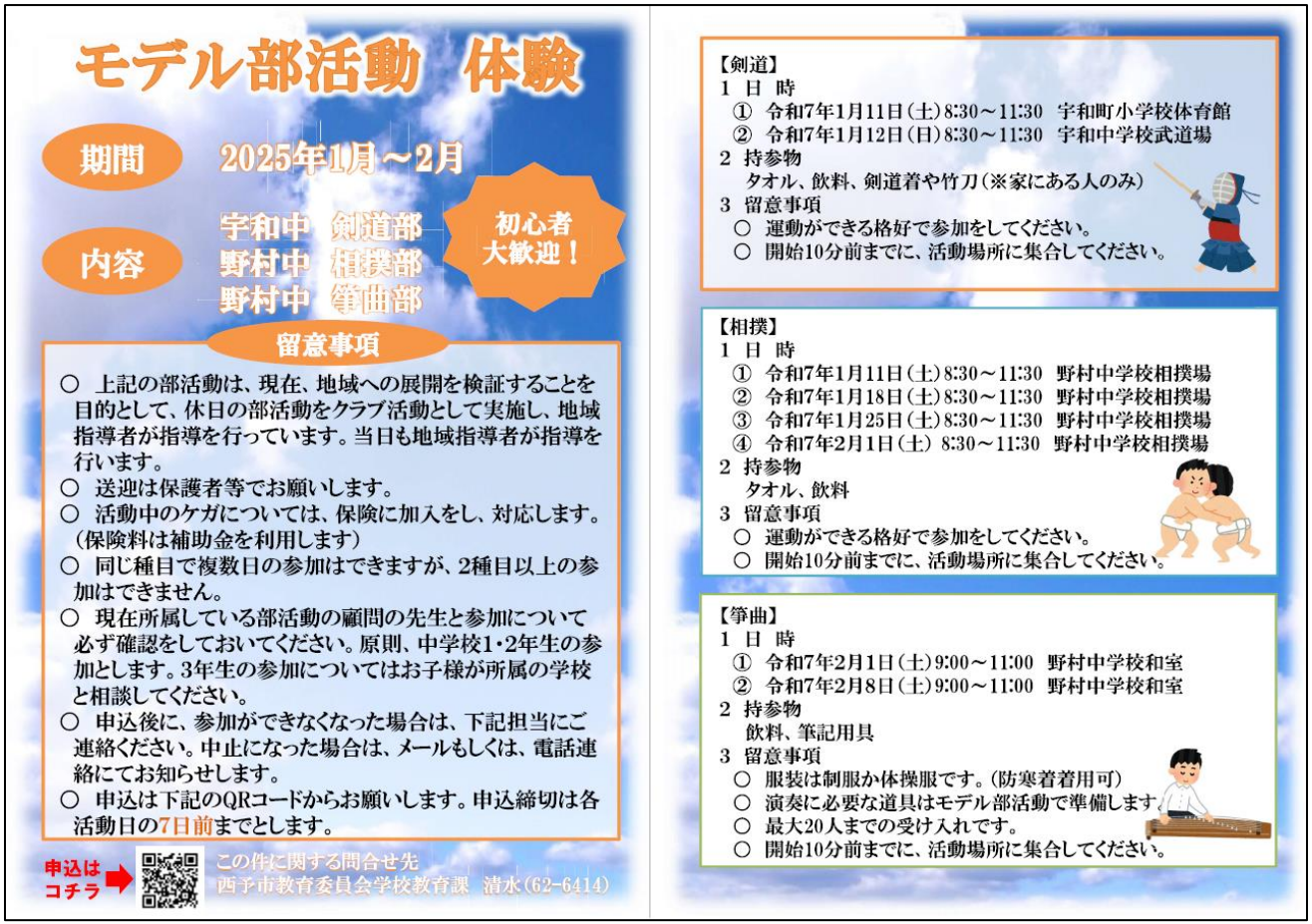
◇令和６年度の実証事業とは？◇

実証事業とは、国の補助金を利用して、地域移行の取組を検証していくものです。今年度は、部活動の休日の地域移行に、右の３つの部活動に取り組んでいただきます。実証事業を通して、成果や課題を抽出します。

【令和６年度モデル部活動】

部活動名	地域指導者
野村中学校箏曲部	箏　絢の会
野村中学校相撲部	西予市相撲連盟
宇和中学校剣道部	剣道部外部指導者

☑休日の部活動を地域指導者が指導
☑国の補助金を活用し、休日の部活動の地域移行について検証



モデル部活動　体験

期間　2025年1月～2月

内容
宇和中　剣道部
野村中　相撲部
野村中　箏曲部

初心者大歓迎！

留意事項

○ 上記の部活動は、現在、地域への展開を検証することを目的として、休日の部活動をクラブ活動として実施し、地域指導者が指導を行っています。当日も地域指導者が指導を行います。
○ 送迎は保護者等でお願いします。
○ 活動中のケガについては、保険に加入をし、対応します。（保険料は補助金を利用します）
○ 同じ種目で複数日の参加はできますが、2種目以上の参加はできません。
○ 現在所属している部活動の顧問の先生と参加について必ず確認をしておいてください。原則、中学校1・2年生の参加とします。3年生の参加についてはお子様が所属の学校と相談してください。
○ 申込後に、参加ができなくなった場合は、下記担当にご連絡ください。中止になった場合は、メールもしくは、電話連絡にてお知らせします。
○ 申込は下記のQRコードからお願いします。申込締切は各活動日の7日前までとします。

申込はコチラ

この件に関する問合せ先
西予市教育委員会学校教育課　清水（62-6414）

【剣道】
1 日 時
① 令和7年1月11日（土）8:30～11:30　宇和町小学校体育館
② 令和7年1月12日（日）8:30～11:30　宇和中学校武道場
2 持参物
タオル、飲料、剣道着や竹刀（※家にある人のみ）
3 留意事項
○ 運動ができる格好で参加をしてください。
○ 開始10分前までに、活動場所に集合してください。

【相撲】
1 日 時
① 令和7年1月11日（土）8:30～11:30　野村中学校相撲場
② 令和7年1月18日（土）8:30～11:30　野村中学校相撲場
③ 令和7年1月25日（土）8:30～11:30　野村中学校相撲場
④ 令和7年2月1日（土）8:30～11:30　野村中学校相撲場
2 持参物
タオル、飲料
3 留意事項
○ 運動ができる格好で参加をしてください。
○ 開始10分前までに、活動場所に集合してください。

【箏曲】
1 日 時
① 令和7年2月1日（土）9:00～11:00　野村中学校和室
② 令和7年2月8日（土）9:00～11:00　野村中学校和室
2 持参物
飲料、筆記用具
3 留意事項
○ 服装は制服か体操服です。（防寒着着用可）
○ 演奏に必要な道具はモデル部活動で準備します。
○ 最大20人までの受け入れです。
○ 開始10分前までに、活動場所に集合してください。

【地域移行通信（HP掲載）】

【モデル部活動体験に係るチラシ（連絡アプリで保護者に送付）】

2.実証内容と成果④

スポーツ庁

参考資料（活動写真）



【5/16 部活動に係る指導者研修会】



【11/19 第2回西予市中学校部活動地域移行推進委員会】



【地域クラブ活動の様子（相撲）】



【地域クラブ活動の様子（剣道）】

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和５年		令和６年		令和７年
協議会設置 検討開始	▶ **アンケート実施 推進計画策定**	▶ **推進委員会設置 実証事業実施**	▶ **新入生説明会実施 アンケート実施**	▶ **ロードマップの作成**

＜令和５年度＞

●ステークホルダー

中学校長、学校体育会関係者
スポーツクラブ関係者、スポーツ協会
文化部関係者、PTA関係者
学校教育課、まなび推進課
まちづくり推進課

●経過

・西予市中学校部活動地域移行推進協議会開催

●実施内容、工夫した点 等

・将来受入団体の候補となる地域のスポーツクラブ関係者、スポーツ協会に協議会委員を委嘱した。
・県教育委員会義務教育課・保健体育課にオブザーバーを要請し、具体的な助言をいただいた。

＜令和５年度＞

●ステークホルダー

教員（部活動顧問等）
小５・６児童とその保護者
中１・２生徒とその保護者

●経過

・部活動地域移行に係るアンケートを上記のステークホルダーに実施
・アンケート結果および推進協議会での協議を受けて、中学校部活動地域移行に係る西予市推進計画を策定

●実施内容、工夫した点 等

・中学校の教員だけなく、小学校の教員も対象とし、様々な視点からの意見を収集した。

「＜令和６年度＞

●ステークホルダー

中学校長、スポーツクラブ関係者
スポーツ協会、PTA関係者
実証事業関係者（生徒・保護者・地域指導者・顧問）
学校教育課、まなび推進課
まちづくり推進課

●経過

・西予市中学校部活動地域移行推進委員会開催
・実証事業（運動部２）実施

●実施内容、工夫した点 等

・文化部と同時に実証事業を実施することで、部活動地域移行全体の課題を把握することができた。
・推進委員会のオブザーバーとして、モデル部活動地域指導者を招聘した。

「＜令和６年度＞

●ステークホルダー

小学校６年生児童とその保護者、教員
小１～中２児童生徒の保護者

●経過

・部活動地域移行に係るアンケート実施（教員７月・保護者２月）
・新入生説明会の実施

●実施内容、工夫した点 等

・次年度以降のロードマップ作成に係る内容でアンケート調査をそれぞれ実施した。

3.今後の方向性

スポーツ庁

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度	令和10年度
期　間	改革推進期間 ※必要に応じて体制・環境整備			改革実行期間 ※休日の地域展開等に着手		
部活動		モデル部活動での実証事業		・拠点校方式による部活動や合同部活動など様々な体制を導入（予定） ・地域指導者の主体的な指導への移行（予定） など、移行期間の体制整備		
	外部指導者（地域指導者）の配置					
	全員部活動制		全員部活動制の検討			
社会体育活動 地域文化活動		地域クラブ認定体制作り		地域クラブ活動の充実		
		地域クラブ育成				
事務局	推進協議会の開催	推進委員会の開催	推進協議会の開催	西予市中学校部活動に係る地域移行方針（ロードマップ）に沿った事業推進		
	アンケート実施		ロードマップ作成			
		部活動指導に係る研修会				
	地域指導者の確保（地域・企業・教員・教員OB等）					
	説明会の開催 ※保護者・児童生徒・学校関係者・地域指導者等					
	推進計画の策定	推進計画の見直し				